

2016年4月20日

第207回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会例会の議事録

部会長 村山元理

第207回例会 2016年4月18日(月) 18:00-19:00 学士会館309室(広めの部屋)

参加者; 佐藤、宇佐神、古山、山本、辻井、望月、村山の7名

欠席届: 速水、緒賀、遠藤、増澤、新川

議案 18:00-19:00

- ・平成26年度研究部会報告(1, 3月はキャンセル)、会計報告
- ・2017年度の部会運営の新方針の決定

村山は多忙につき年4度ほど参加。参加する際は、研究報告や事前のペーパー提出の例会とする。その他の例会は、テーマを設定した議論や課題紹介の会合として、宇佐神先生(副部会長)が司会役・会場支払係りに。共同で『21世紀の経営倫理』を目指す。

- ・毎月の例会開催を継続。第4月曜日午後6-8時に学士会館にて。
- ・村山の運営日: 7月25日、9月26日、11月28日、3月27日を予定。事前にペーパーを回覧し、当日はペーパーに基づき、議論し、成果を出すことを目的とする。

研究報告 「金子武蔵『倫理学概論』(1957年)の示唆」 宇佐神正明 19:00-20:00

- ・レジュメ3枚(報告概要、前回の問題点、21世紀の倫理: 和辻と金子-シャルダンを介して-)
- ・古山: 回覧したペーパーをもとに金子倫理学の諸テーマを敷衍して概説する。金子は広範な倫理学説を消化し、批判的に摂取して己が倫理学説を立てているが、和辻のようなオリジナルな説を立てていない。
- ・宇: 金子の最終的に示したのは「日々の要求」、命の場である。シャルダンの科学にもとづく命の倫理が展開される。壮大で深淵な宇佐神倫理学を開陳する。

今後の日程 (毎月の第4月曜日)

第208回例会 5月23日 18:00-20:00 308室

「金子武蔵『倫理学概論』(1957年)の示唆」(続), 21世紀とは何か 宇佐神正明

第209回例会 6月27日 308室

第210回例会 7月25日 308室

8月22日、9月26日、10月24日、11月28日 12月、1月23日、2月27日、
3月27日

以上